



データベースに接続出来ません。設定ファイルを確認して下さい。

のエラーメッセージが表記される場合、下記を確認して下さい。



産廃ソフトが起動しない時の対処法について

「データベースに接続出来ません。設定ファイルを確認して下さい」と表示されて起動しない場合。

全てのクライアントパソコン（子機）が起動しない場合のみの対処です。

1台のクライアントパソコン（子機）のみ起動しない場合は別の問題が考えられます。

下記処理をメインパソコン（親機）で行ってください。

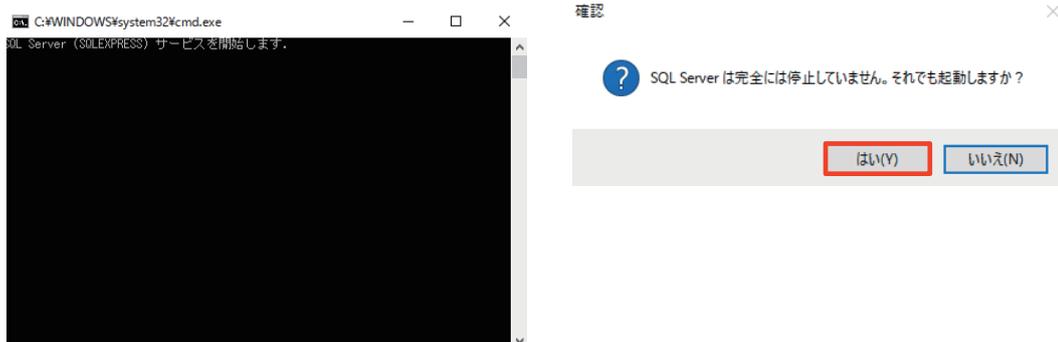
1. エラーメッセージの中の OK をクリックしてください。
2. データベース管理ツールが自動的に開いてきます。



3. 「コマンド」タブの「SQL Server」をクリックしてください。

黒いウィンドウが表示されますが自動的に閉じられます。

「SQL Server は完全に停止していません。それでも起動しますか？」と出た場合は「はい」で進めてください。



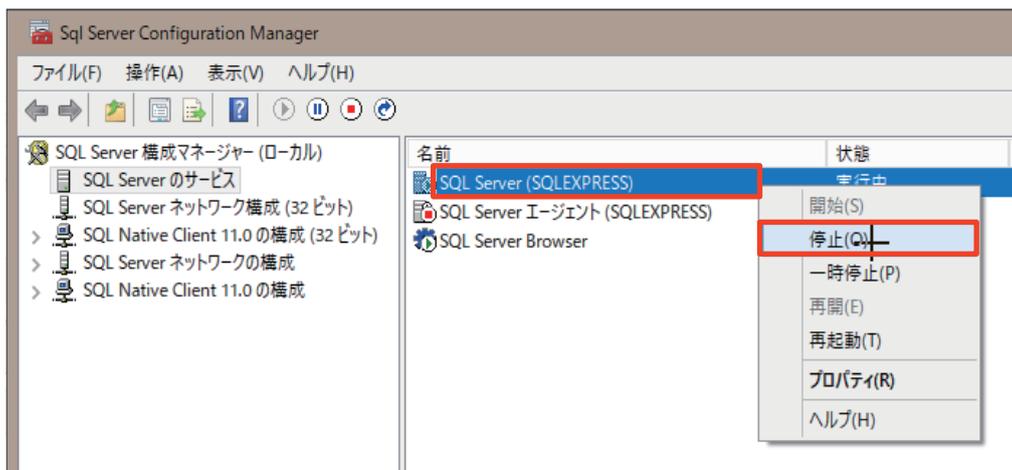
4. 産廃ソフトを起動してください。

1～4を行っても解消されない時は、次の処理を試してください。

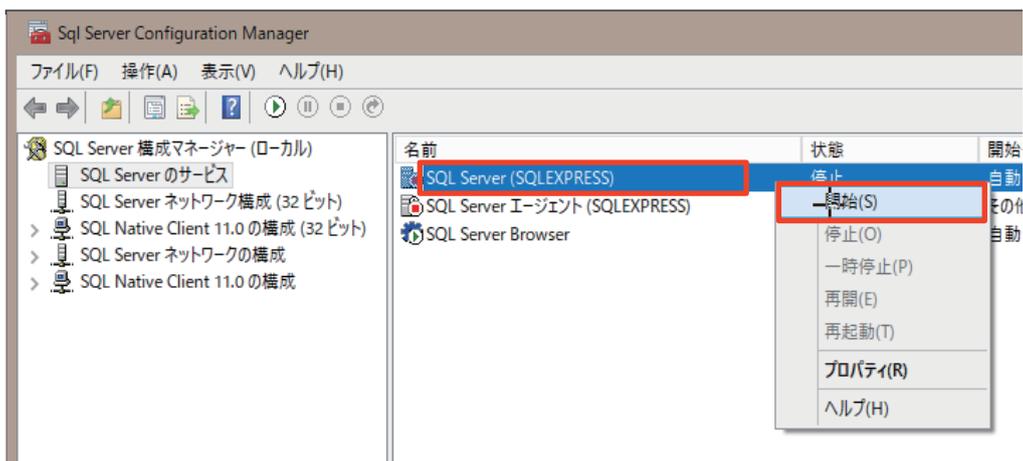
1. データベース管理ツールの「コマンド」の「構成マネージャー」をクリック



2. SQLserver(SQLEXPRESS) を右クリックして、「停止」をクリックする



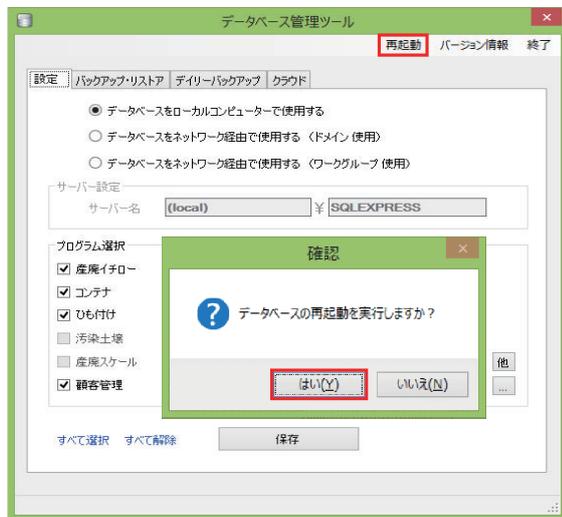
3. SQLserver(SQLEXPRESS) を右クリックして、「開始」をクリックする



4. 産廃ソフトを起動してください。



データベース管理ツールの再起動

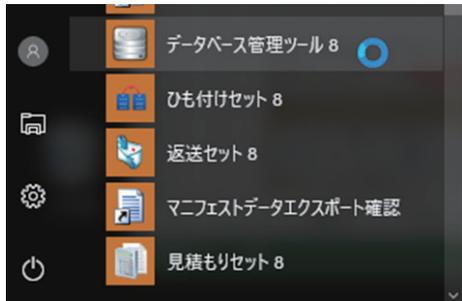


「サーバー（データベースを格納しているパソコン）」から処理を行って下さい。

「データベース管理ツール」→「右クリック」→「管理者として実行」→「再起動」を行う。



SQL 動的ポートの数字の確認 #1



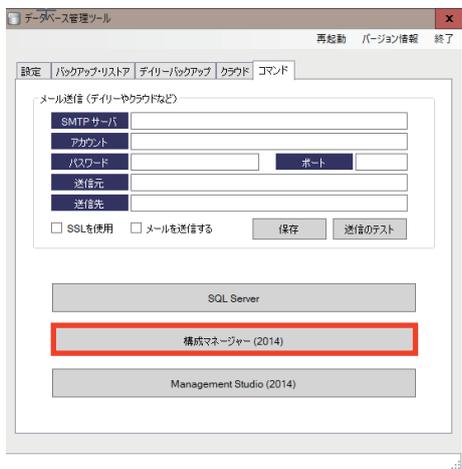
1. Windows スタート メニュー



エスエムエス



データベース管理ツール 8 を開く

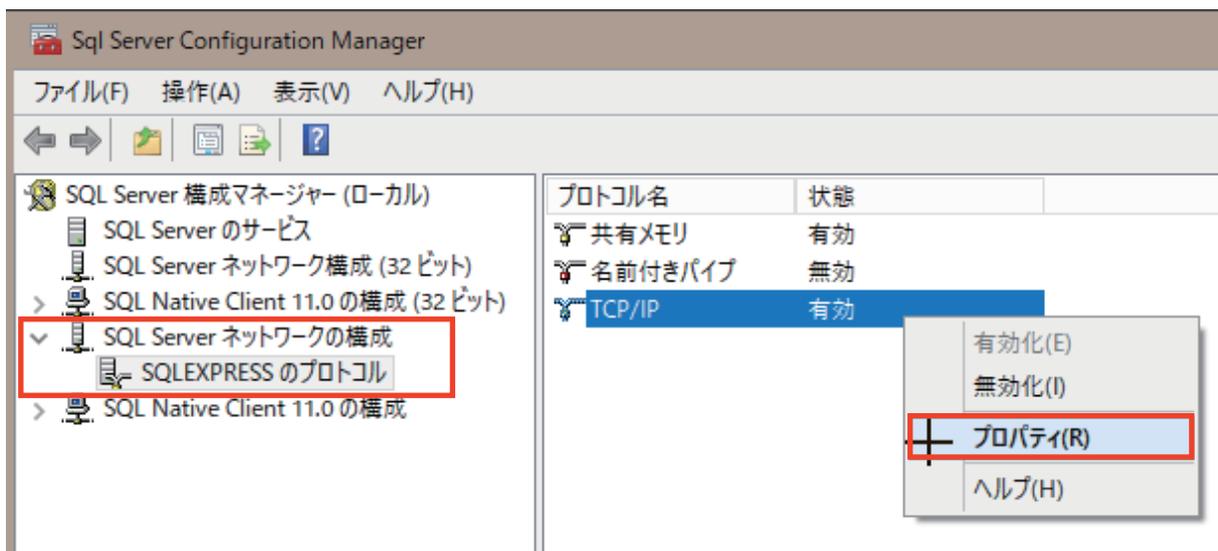


2. コマンドの「構成マネージャー (2014)」をクリック

3. SQLserver ネットワークの構成にある SQLEXPRESS のプロトコルをクリック

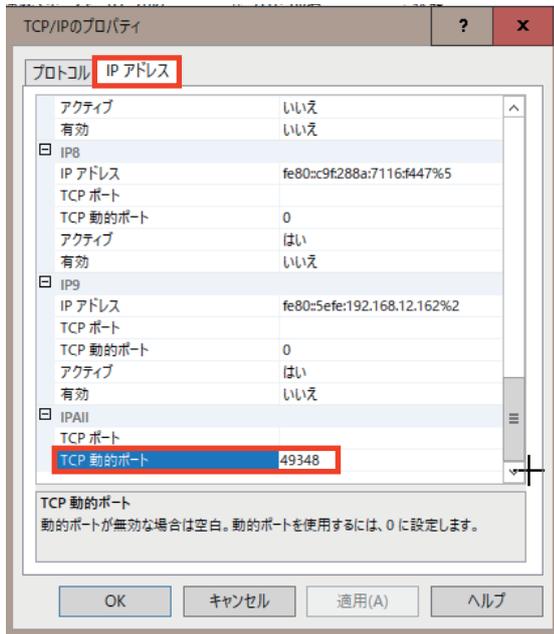
右枠の TCP/IP で右クリックをして、プロパティを開く

※SQLEXPRESS は環境によっては別の名前があります。





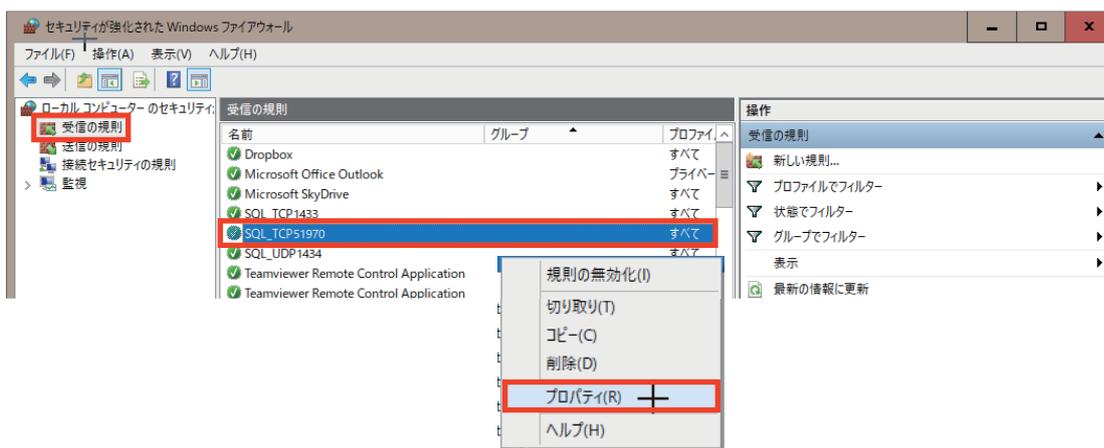
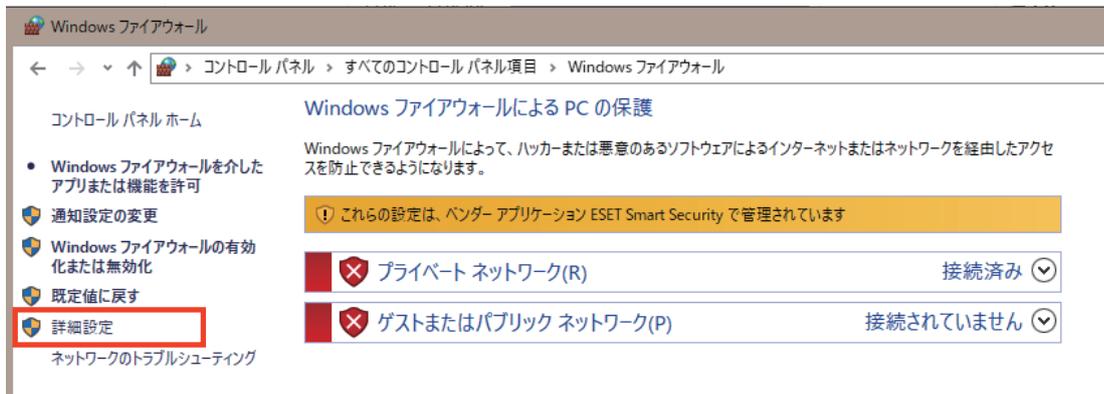
SQL 動的ポートの数字の確認 #2



4. IP アドレスのタブの一番下の「TCP 動的ポート」の数字をメモしてください。

※この例では、49348 です

5. Windows のコントロールパネル → windows ファイアウォール → 詳細設定を開きます。
受信の規則をクリックすると、SQL_TCP と数字が入った内容のものがああります。
1433 と 1434 以外の数字が入った行で右クリックし、プロパティをクリックしてください。
※この例では「SQL_TCP51970」です。





電源の確認

「サーバー（データベースを格納しているパソコン）」・「ルーター」・「HUB」の確認。
「モニター画面」・「パソコンの電源ランプ」が付いているか確認下さい。



モニター画面



パソコンの電源



ルーター



HUB



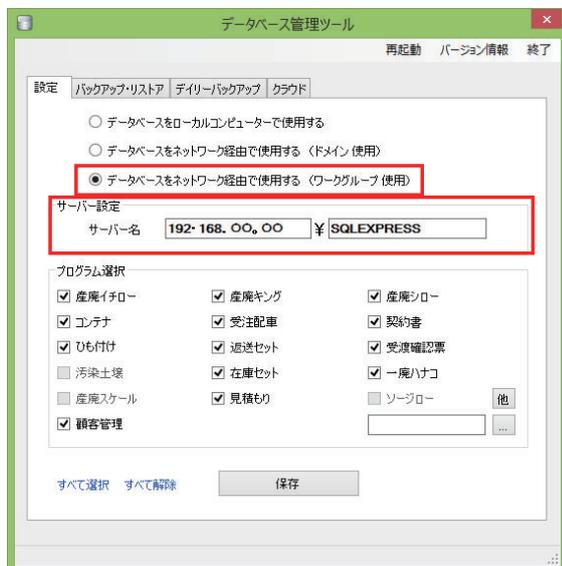
ネットワークの確認

「LAN ケーブル」がパソコンと HUB に繋がっているか、壊れていないか確認下さい。





サーバー名 IP アドレス又はコンピュータ名の確認



「データベース管理ツール」→「設定」→「データベースをネットワーク経由で使用する (ワークグループ使用)」にチェックが入っているか確認。

IP アドレス又はコンピュータ名の入力ミスがあるので再入力します。

ドット「.」が「、」や「・」違う記号になっている。スペース、エンターが入っている可能性があります。

お客様名：

お客様の IP アドレスまたは PC 名

サーバー名

 ¥ 

パソコンの状態を確認

パソコンがスリープ状態になっていないかの確認を行います。

「コントロールパネル」→「電源オプション」→「コンピュータがスリープ状態になる時間を変更」→「適用しない」に設定し「変更の保存」



上記の方法を試してもエラーが発生する場合はサポートセンターまでご連絡下さいませ。
サポートセンター TEL. 073-488-4008

インターネットプロトコルVer6(TCP/IPv6)設定の無効にしているか確認

IPv6が有効になっている場合、子機パソコンから接続できなったり

バックアップがとれないといった障害が起こることがあります。

Windows11の場合

「Windowsスタート」→「すべてのアプリ」→「Windowsツール」→「コントロールパネル」
→「ネットワークとインターネット」→「インターネットと共有センター」

Windows10の場合

「Windowsスタート」→「Windowsシステムツール」→「コントロールパネル」
→「ネットワークとインターネット」→「インターネットと共有センター」

表示されたページ上部にあるアクティブなネットワークの表示内右側、アクセスの種類から

→「接続：イーサネットorWifi」を開きイーサネットの状態下部にある「プロパティ(P)」を開きます。

表示されたページ中部にある項目からインターネットプロトコルVer6(TCP/IPv6)

のチェックボックスをを外して下部「OK」を押します。

最後に閉じるを押した後にインターネットが切れていないか確認をしてください。

